

岩手大学 SPERC 水素利用技術研究グループ講演会

化学とデバイスをつなぐ装置開発の最前線

－薄膜太陽電池・酸化物半導体・塗布型有機 EL

大型装置開発の軌跡－

世界最先端のエネルギーデバイス開発と液体水素気化設備導入。その現場で培われた研究開発・製品化・事業化のリアルに迫ります。

講師 岸本 克史氏（工学博士・上席）

キヤノン株式会社 光学機器事業

FPD 事業部第4PLM センター

薄膜太陽電池・酸化物半導体・

有機 EL 分野の大型製造装置開発に長年従事



日時 令和 8(2026)年 10 月 30 日(金)15 時-16 時(予定)

会場 岩手大学理工学部 5 号館(C13) 200 号室

(〒020-8551 岩手県盛岡市上田 4-3-5)

主 催 岩手大学理工学部附属ソフトパス理工学研究センター(SPERC)

水素利用技術研究グループ

共 催 INS エネルギー変換技術研究会

参加費 無 料(教職員・学生・一般の皆様、どなたでも参加いただけます)

講演概要

本講演では、キヤノン株式会社の事業概要を紹介するとともに、講師が国内外で携わってきた薄膜太陽電池、酸化物半導体、塗布型有機 EL などの先端デバイス開発を支える大型装置開発や、大規模水素ガス供給設備の導入・運用の実例を通して、化学とデバイス技術を融合したものづくりの魅力と、各世代の研究者に向けてのプレイブックの提案についてご講演いただきます。研究成果が社会に実装されるまでのプロセスや、企業研究者・技術者に求められる視点について学べる貴重な機会です。学生・大学院生はもちろん、教職員ならびに一般の皆様のご参加を歓迎いたします。なお、本講演会は第 49 回 INS エネルギー変換技術研究会講演会および第 13 回岩手大学電気化学セミナーとの共催事業となります。

連絡先 宇井幸一(岩手大学理工学部化学コース) TEL: 019-621-6340, E-mail: kui@iwate-u.ac.jp